

6月議会の ニュースのとびら



夏本番！元気に水遊びする園児たち（岩屋保育園）

職員給与・議員歳費削減 で活発な討論

国の地方交付税減額に伴う地方公務員給与の減額で賛否両論併せて活発な討論を行った

P4

伯仲した議案の賛否

今議会では議案の賛否で伯仲した結果となった

P5

災害時備蓄用品を 整備

災害発生に被災者や避難者に支援するための物質を備蓄

P2
~3

政務調査費の実績 報告

平成24年度の政務調査実績報告書を掲載

P7

活発な一般質問

今議会も14名の議員が登壇し、活発な論戦を展開した

P8
~17

委員会 レポート

P18
~19

一般会計 総額で 153億3428万円に

災害時備蓄用品等を整備

成人風しんワクチン接種に助成など

1億7200万円を補正

平成25年第2回嬉野市議会定例会は、6月7日から20日まで14日間の日程で開催された。

提案された議案は、6件の報告並びに専決処分の承認を求めることについて1件、条例の制定1件、一部改正1件、市道路線の認定1件、建設工事請負契約の締結1件、一部事務組合の契約の変更について1件及び平成25年度補正予算案が7件で、19件について慎重に審議を行った。

また、会期中の14日には、補正予算1件と議員による発議1件が提案された。最終日には、意見

書2件と補正予算の修正についての議員発議、及び請願採択による意見書についての委員会発議を提案し、全ての議案を可決した。(賛否表は5ページ参照)

今議会の補正の主なものは、「嬉野市職員の給与の臨時特例に関する条例」等の制定に基づき、共済費を含み687万円の減額となる予算が関係各費目に計上された。

国の経済対策として「地域の元気臨時交付金」や「社会資本整備総合交付金」及び県補助金等を歳入財源とし、不足分を財政調整基金繰入金

で賄い、補正額1億7200万円、予算総額153億3428万円、対前

年比15・9%増となり、今年度大型予算がさらに膨らむ内容となった。

(補正予算の主なものは、3ページを参照)

会計名	補正額	補正後の総額	
一般会計	1億7200万円	153億3428万円	
特別会計	国民健康保険	12万円	44億4862万円
	農業集落排水	8万円	3億1437万円
	公共下水道事業	1990万円	3億4593万円
	第7土地区画整理事業	2万円	2億799万円
	第8土地区画整理事業	2万円	1億4497万円
水道事業	収益的収入		6億300万円
	収益的支出	20万円	6億4335万円
	資本的支出		2452万円
	資本的収入		2億402万円



災害発生時に対応する備蓄倉庫（嬉野庁舎前）



改修される嬉野温泉のシンボルの温泉橋（赤橋）

温泉橋（赤橋）の
改修工事に

800万円

問 工事の内容は。

答 温泉橋の高欄が経年劣化により腐食し、塗装が剥げ落ちていたために補修と塗装をする。

問 工事の目的は。

答 通行する車両や歩行者の安全を図り、景観を保全する。

イアロフ（東方地域都市計画住宅機構）地域セミナー
展開事業に

164万円

問 イアロフとは。

答 日本や韓国、東南アジアの諸国（10～15カ国参加）で、居住環境の改善や国・地方レベルでの都市農村計画の研究と推進を目的として活動しているNGO団体である。その地域セミナーを嬉野市に招致しようとするものである。

問 いつ開催されるのか。

答 平成27年度が日本開催予定で、今年度マレー

シアの大会に参加し、招致活動を行う予定。

成人風しんワクチン
接種費用助成に

94万円

問 どうしてなのか。

答 都市部で成人の風しん罹患者が増え社会問題になり、当市でも特に妊婦への感染リスクの軽減を行うためである。

問 対象者は。

答 満19歳以上の市民で、過去に風しんにかかったことがない者及び風しん単独ワクチン又は麻しん風しん混合ワクチン未接種者。あるいは接種有無の不明者である。接種費用は全額助成する。

空き店舗対策・
改修事業に

100万円

問 事業の目的は。

答 九州新幹線西九州ルート開業前に嬉野温泉市街地の賑わいを創出するための空き店舗対策として、所有者の意向及び利用状況を戸別に聞き取

その他の主な補正予算

福祉バス車庫整備（吉田地区）	278万円
保育士等処遇改善臨時特例事業	1950万円
浄化槽設置区域外の補助	396万円
久間地区の初摺り機の導入	1257万円
今寺地区水路改修	2810万円
志田焼の里博物館の券売所設置	350万円
鷹ノ巣公園の危険箇所の改良工事	1000万円
川原橋の橋梁長寿命化計画の補修	240万円
轟小の中庭、管理棟屋根等の補修	890万円
嬉野中の中央広場の人工芝改修	1070万円

り調査を実施する。

問 事業の内容は。

答 調査結果を基に検討報告書を作成し、空き店舗の活用促進を図るために改修費を補助する。

災害時備蓄用品等
整備に

716万円

問 事業の目的は。

答 平成24年度から整備を行った防災備蓄倉庫（2カ所）に、日常生活

に必要な物資等を備蓄することに、災害発生時における被災者及び避難者の支援を行う。

問 備蓄品の内容は。

答 県・市町の物資に関する連携備蓄体制整備要領に基づく日常生活に必

要な物資（食料・簡易トイレ・発電機）等である。

公園施設整備に

3800万円

問 事業の目的は。

答 公園内の施設を整備することで利用者の増加を図る。また、改修することにより利用者の安全性を確保しバリアフリー化を図る。

問 事業の内容は。

答 みゆき公園と和泉式部公園にコンビネーション遊具を設置。鷹ノ巣公園テニスコート（2面）を砂入り人工芝コートに改修。みゆき公園球技場に掲揚台と得点板を設置する。

職員給与・議員歳費削減で討論

東日本大震災の財源確保のために国家公務員の給与が削減されることとなり、それに伴ない嬉野市職員の給与を一定期間一般職が1%、特別職が



議員報酬の改正は、議員定数とセットでしっかりと議論すべき問題であり、市職員が削減するから議員も削減すべきと感情的に流れていいのか、それも7カ月だけの削減



私毛国が地方に対し、一方的に交付税を削減することに怒りを覚える。しかし、市職員や市長など特別職が財源確保のために給与を削減する議案を提出され、議会はこれ

10%の削減をする条例が提案された。

また、議員発議により、財源確保に協力するため3%の議員報酬を一定期間削減することを提案理

発議第3号「議員報酬を削減する条例改正」に

反対

では、混乱を生むだけである。また、来年1月は、市議会議員選挙もあり、若い新人の立候補を望み、活性化につなげて欲しいと期待するが、議員報酬を生活の主として立候補する候補者の、意欲を阻

山下 芳郎 議員

害することになる。加えて市職員は人事院勧告によるが、議員は、市の財政状況に応じ、決定されており、佐賀県でも2番目に低い報酬である。

発議第3号「議員報酬を削減する条例改正」に

賛成

を可決した。市財政がより厳しくなった今期、執行部のみの削減は、市民の理解を得られない。国が東北大震災の財源を確保するために、地方へ協力をもとめている以上、議会も7月から来年1月

神近 勝彦 議員

までの7カ月間、財源としては少ないが、財源確保に協力する必要がある。

職員給与削減は国が介入すべきでない。地方公務員給与は住民や議会の意思に基づき各自治体が自主的に決定すべきものである。ましてや地方の固有の財源である地方交付税を地方公務員の給与



議案第67号「職員給与の削減に関する条例改正」に

反対

削減のために用いることは地方分権の流れに反し、地方の財政自主権を侵すものである。今回の職員給与削減は、人事院勧告に基づかず、国が示す7・8%の賃下げの運動を地方に押し付けるものである。市職員給与は佐

西村 信夫 議員

賀県下20市町で19位であり、今回、引き下げれば職員給与の低下を招く。現行の給与で市民への行政サービス、福祉の向上にさらに尽力いただきたい。



議案第67号「職員給与の削減に関する条例改正」に

反対

国は、地方の人件費職員給与（削減を見込んで地方交付税を減らす方針である。地方公務員の給与は、地方公務員法に定める給与決定の諸原則や人事院勧告等を踏まえて、地方自治体の条例で定め

山口 政人 議員

られるものである。地方交付税が減額される以上、現実的な対応を取らざるを得ないのは理解するが、地方のこれまでの人件費抑制努力を考慮せず、地方交付税を削減するという国の対応は納得できない。また、短

期間の給与削減といえども地方交付税を国が地方をコントロールする道具として使うことは、地方の自立を妨げることになる。



議案第79号「一般会計補正予算第3号」に

反対

この問題は発生より1年以上経過している。損害賠償に公金を支出することは、議会の責任を問われることになる。支払先も明確にせず、議

平野 昭義 議員

会の同意を得ること事態時代錯誤である。教育長や関係者が、親身になって努力されていたら未然に防止できたと確信する。議員として、市民の前にチェック機能を果たさな

ければならない責務を痛感すると同時に、今後体罰に対する損害賠償金の請求が発生しないことを願って反対する。

みゆき球技場に人工芝



人工芝に改修されるみゆき球技場

みゆき球技場の天然芝の傷みが以前から指摘されていたが、今回、改修工事を行うことになった。既設天然芝を剥ぎ取り、暗渠排水を施し、透水性アスファルト舗装の上に人工芝を施設する。人工芝ピッチについては、財団法人日本サッカー協会の公認を取得するため、現地検査（フィールドテスト）を受け、「JFAロングパイル人工芝ピッチ公認規定」に基づき申請手続きを行う。今議会にこの工事請負

新幹線嬉野温泉駅周辺整備事業で区画整理事業地区内での立ち退きに伴い、世帯の移転先周辺の道路を新たに整備する必要がでてきた。今議会にこの市道路線（築城大橋支線）の認定を求める議案が上程され、全会一致で可決した。

市道認定

みゆき球技場改修工事請負契約

- 建築主体工事** 嬉野総合運動公園みゆき球技場改修工事請負契約
- 契約方法** 指名競争入札
- 契約金額** 1億5750万円
- 契約相手方** 株式会社 小川組

契約の締結についての議案が上程され、全会一致で可決した。公認を得ることによって、一般・高校生までの大きな試合や大会を誘致できることになる。

議案の賛否 どう判断

賛 否 表 は賛成 は反対

議案番号	議案名	番号		議員名																	
		結果	表決数	1 辻 浩一	2 山口 忠孝	3 田中平一郎	4 山下 芳郎	5 山口 政人	6 小田 寛之	7 大島 恒典	8 梶原 睦也	9 園田 浩之	10 副島 孝裕	11 田中 政司	12 織田 菊男	13 神近 勝彦	14 田口 好秋	15 西村 信夫	16 平野 昭義	17 山口 要	
議案第67号	嬉野市職員の給与の臨時特例に関する条例について	可決	10:7																		
発議第3号	嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	可決	9:8																		
議案第72号	平成25年度嬉野市一般会計補正予算（第2号）	可決	11:6																		
議案第79号	平成25年度嬉野市一般会計予算補正予算（第3号）	可決	12:5																		
発議第4号	ホテル・旅館等建物の耐震化の促進に関する意見書について	可決	17:0																		
発議第5号	九州新幹線「西九州ルート」のフル規格化への協議を求める意見書について	可決	17:0																		
発議第7号	教育予算の拡充を求める意見書について	可決	17:0																		

九州新幹線「西九州ルート」のフル規格化を求める意見書

今議会に、請願1件・陳情2件が提出され、教育予算の拡充を求める請願は全会一致で可決し意

見書として採択した。また、議員発議として2件の意見書が上程され、いずれも全会一致で可決

した。採択したこれら3件は、嬉野市議会の意見書として関係各省庁に送付する

ことになった。

九州新幹線「西九州ルート」のフル規格化の協議を求める

現在工事が進められているフル規格化の方法では、開通しても博多駅で山陽新幹線への乗り換えが基本となると考えられる。これからの西九州地域全体の経済、観光を活性化するためには、関西圏と西九州が直接結ばれることが重要であり、高速交通体系の確立は急務である。このためには新鳥栖～長崎間をフル規格で整備することが重要となり、佐賀県、長崎県、国、JRの4者でフル規格化への協議を行うことを強く要望する。

教育予算の拡充を求める

子ども達は全国どこに住んでいても、どのような環境に育っていても、機会均等に一定水準以上の教育を受けられる権利がある。将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育はきわめて重要であり、未来への先行投資として、子どもや若者の支援を行うことは必要である。そのために小人数学級を推進し30人以下の学級とすること。

また、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに国庫負担を2分の1に復元することを求める。

ホテル・旅館等建築物の耐震改修促進法の改正に関し特段の配慮を求める

国会において「建築物の耐震改修に関する法律の一部を改正する法律」が成立した。耐震診断の実施及びその結果を平成27年末までに所管行政庁に報告することが義務づけられた。診断結果による建築物の耐震化には多額の費用が必要である。法の施行に当たっては実情などを十分踏まえ、必要な財政支援措置が確立されるまでは施行期間を延長すること、及び耐震結果の公表を猶予するなどの配慮がなされるよう要望する。

請願

教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願書
 請願者 嬉野町下宿

紹介議員 松尾弘樹
 西村信夫

採択して意見書を提出

陳情

違法な臓器生体移植を禁じることを求める
 兵庫県伊丹市 井田敏美

工事発注における市内下請け業者選定を求める
 嬉野市商工会

会長 小原健史
 嬉野市鉄溝工業会
 会長 福田文夫

国道498号線に係る右折車線と蓋設置推進を求める
 南下久間区

区長 村岡安昭

知ってますか 請願・陳情の出し方

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。提出にあたっては次の事項に注意してください。

請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。

請願書は1人以上の紹介議員が必要です。

紹介議員が付かないときは陳情書としてください。

道路等は簡単な地図（略図）をつけてください。

請願や陳情書の一切りは定例会開会の6日前までです。



待ち遠しい九州新幹線の車両

能力アップに向け 職員研修に助成



能力アップに向けての職員研修風景

4月30日に第1回臨時議会を開催し、728万円の補正予算が提案され全会一致で可決成立した。内訳は、議会事務局嘱託職員の雇用、早稲田大学マニフェスト研究所への研修会参加費、みゆき球技場の公認手数料、文化財保存のための臨時職員雇用費などの予算である。

**早稲田大学マニフェスト研究所の研修事業に
155万円**

問 事業の目的は。
答 1年間にわたる研究会への参加を通じ、次世代のリーダーを育成する。
問 何人派遣するのか。
答 女性2名と男性1名の職員を派遣する。
問 研究会の開催場所と回数は。
答 東京での夏期研修会と年5回の研究会を福岡で、さらにシンポジウム1回を開催予定。

**積算システムの増設に
56万円**

問 増設されるシステムとは。
答 農業農村整備事業の事務効率アップのためのソフト導入である。
問 増設の規模と効果は。
答 現状の積算システムを2台から3台に増設することにより、遅れ気味の事業への対応や、今年度から始まる農業基盤整備促進事業など新規事業の加速化と事務効率のアップを目指す。

**JFA（公益財団法人日本サッカー協会）への公認手数料として
32万円**

問 何の公認手数料なのか。
答 みゆき総合運動公園内の球技場整備に伴い、公認の大会使用を可能とするためのJFAへの公認申請手数料である。
問 球技場の整備内容は。
答 荒れてしまった球技場の天然芝を人工芝に張り替える予定。

**社会教育の臨時職員雇用に
142万円**

問 臨時雇用はなぜ必要なのか。
答 文化財担当の職員が新幹線整備事業などに携わる必要性が生じたため、本来の業務である文化財や図書館業務に支障を及ぼすこととなった。また、図書館業務については土日も開館しているので、その分も臨時職員で対応する。

政務調査費の実績

(単位：円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
研究研修費	287,895	912,560	577,380	1,557,220	1,452,415
調査旅費	1,362,885	853,000	623,245	226,000	195,520
資料作成費	235,700	360,697	152,669	0	0
資料購入費	1,131,290	919,803	1,496,217	1,249,236	1,112,888
広報費	165,756	296,066	0	0	0
広聴費	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0
その他経費	2,014,174	1,453,593	339,922	165,002	157,713
機器リース	1,713,156	1,060,380	251,748	97,768	96,768
接続料	188,952	161,599	0	0	0
消耗品	112,066	231,614	88,174	68,234	60,2945
合計	5,197,700	4,795,719	3,189,433	3,197,458	2,918,536
支給額	5,040,000	4,980,000	4,320,000	4,320,000	4,320,000
返還額	500,199	539,785	1,183,666	1,172,359	1,468,204

* 議員個人分の内容は嬉野市のホームページを参照

に斬り込む

14名が質問

嬉野市農業の将来像は

山口政人議員

答 儲かる農業を実現し雇用確保と所得向上を



山口 地域産業のけん引役として市農業の将来像をどう描こうとしているのか。

市長 集落地域が抱える人と農地の問題を解決するためJAで「人・農地プラン」の推進を行なっている。また、農業の未来を切り開く6次産業化を推進し、儲かる農業を実現し雇用確保と所得の向上を目指したい。

山口 「人・農地プラン」は行政も各地域に向いて、各地域の考え方や実情を把握すべきではないか。

農林課長 地域のほうから要望があれば伺いたい。

山口 6次産業化の推進は期待しているが、新た

な事業を興すためには旗振り役が必要で、それを行政が努めるべきではないか。

市長 できるだけ努力をしていきたい。

人口減少に対する取り組みについて

山口 嬉野市として人口減少、少子・高齢化社会をどのように捉え、今後のまちづくりをすすめていくのか。

市長 本市の要因としては少子化による自然減と転出者が転入者を上回る社会的減が重なっている。解決するためには、安心して住めるまち、子育て支援や雇用の場の確保等それぞれの環境整備が必要と考えている。

中小企業支援について

山口 中小企業金融円滑化法が本年3月末で失効になるが、その対策はど

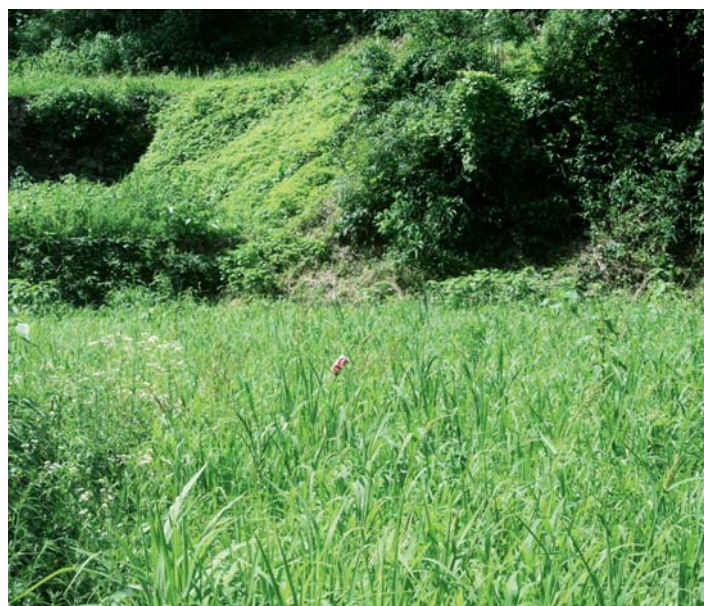
のように考えているか。

市長 市の支援策として、中小企業融資、金融機関への預託及び中小企業貸付保証料の負担、こういった事業で支援していきたい。

企業誘致について

企業誘致の課題は。また、今後どのように進めるのか。

市長 全国的に、景気低迷による企業の設備投資が鈍く立地件数が減少しているが、企業訪問を通して企業のニーズを把握し、重点誘致企業を確立し進めていきたい。また工業団地の拡張計画については事前協議に時間がかかっているが努力をしていきたい。



年々増えていく耕作放棄地

お茶の間で議会を



- ・インターネット中継・録画放送
 - ・有線テレビ放映
- (放映については議会事務局にお尋ねください)



いっぱん質問

市長 5月26日、佐賀県

平野 過去20年、塩田川下流域は、大きな水害は発生していないが、集中豪雨は各所で発生している。雨季を控え水防対策は。



水 害対策は万全か

平野昭義 議員

答 市独自で避難訓練を実施した

防災訓練とあわせて嬉野市独自で避難訓練を実施した。

平野 花立水路の改修工事は冠水防止に期待される。花立水路の排水と浦田川排水ポンプの能力は。

市長 花立水路は改修で水量が円滑に流れ排水ポンプは十分機能できる。浦田川排水ポンプは4台設置され全排水能力は毎秒2・6ト。

平野 花立水路は毎秒3ト排水ポンプが2基で1時間では2万1600ト。これで雨が降っても大分早目に水が引くと理解しているか。

産業振興部長 今日まで花立水路は、流入する水量が少ないときは自動的

に停止していたが、今回の工事でポンプの能力を100%発揮できるように改修工事を行った。

平野 再三質問をしてきたが地元の同意が得られていないとの認識をされておられ、市も今後県に推進をお願いしていく。防犯灯の維持管理は防犯協会で行っている。大型道路整備について

市長 新幹線を生かしたまちづくりは近隣との連携が課題となるが、大型道路整備は定着人口増や交流人口を盛んにし、元気が活力あるまちづくりが築かれると確信するが、どう考えるか。

市長 以前から大きな問題と聞いている。土木事務所に設置の要望をして

たが改善されていない。朝夕は樋口病院前まで渋滞し、ドライバーや沿線の住民から不満の声を多く聞く。ある住民は日常生活に耐え切れず移転された。国道に沿って水路があるが、通学児童や地元の方も何回も転落されている。また、防犯灯を緊急に設置して頂きたい。



改修工事が行われた花立水路

再出馬の意思はあるのか

辻 浩一 議員

答 立候補を決意している



辻 次期市長選に向けて新人の立候補者の表明がされた。市長は再出馬の意思はあるのか。

市長 立候補を決意している。嬉野市が誕生し2期を全力で努力してきた。

体力・気力とも充実しており、3期目を目指し、市民のご理解とご支援を頂きたい。

辻 2期目を終える総括として、成果と課題を尋ねる。

市長 新しい嬉野市として前進するため、2町の均衡をはかるよう遅れている施策については早急に取り組んだ。特に、喫緊の課題の教育施設の耐震化は来年完了する。また、財政健全化に努力し、現在の状況は問題ないと財務事務所の評価を頂いた。

辻 私が第1回目の質問として、市民融和について、施策の均衡性を住民に一番近い囁託員を通じて理解を求めるべきと発言したが。

市長 非常に重い意見だ。予算の配分には十分配慮してきたつもりであり、2期目になって、いろんな形で、目の当りにして頂く時になったと思う。業務委託について

辻 業務委託をする場合丸投げではなく、自前で



答 課題もあり勉強する

検討する」の答弁の進捗状況を開示せよ

山下 芳郎 議員

山下 議員の権利である一般質問を毎回しているが「検討する」の答弁について市長の認識は。

市長 予算とか法の問題もあり、慎重に前向きに答えることを前提とする。

議会答弁事項進捗状況調査書

平成25年3月	議員名		神近 寛	
	担当部	農林水産部	担当課	農業水産課
質問年月日	平成25年3月4日			
質問項目	有害鳥獣対策について			
【質問要旨】	アライグマ被害対策について、被害が拡大する前に初期段階での捕獲を実施するための捕獲報奨金制度の導入ができないか。			
【答弁要旨】	【答弁者：市長】 捕獲報奨金制度については、十分内部で検討したい。			
【対応状況・進捗状況】	対応済（平成 年 月 日）	検討・対応中	実施不可	
■平成25年5月29日現在 捕獲報奨金については、新たに設けられた国の補助事業を活用し、インシ分の増額のほか、小動物（アライグマ）に対しても捕獲報奨金を交付し、捕獲活動の更なる強化を図る予定である。				

一般質問の推移を公開している大村市のホームページ

山下 通告書を提出しているの、検討の答弁の時は方向性のある答弁をいただきたい。

市長 予算をつける前に答えていかという問題があるので、原則はしないほうがいいと思う。

山下 大村市は検討の対応について推移をホームページで公開しているが、当市も考えられないか。

市長 政策の決定過程の透明化は当然であるが、議会との調整など課題もあり、もう少し勉強する。有機・特別栽培の推進を

山下 市長は、人にやさしい街づくりを政策としているが、環境にやさしい有機・特別栽培の推進についての認識は。

市長 嬉野町時代に環境保全型農業の特別表彰を受けており継承したい。

山下 国は有機農業推進法を制定し、佐賀県も積極的に推進している。当市は認知度が低く、推進度が感じられない。嬉野市有機促進協議会などの機構を作って促進に務めるべきではないか。

農林課長 行政も関係諸課と協議して進めていきたい。

山下 学校給食の食材の提供に安全安心の選定基準はあるのか。

教育長 納入組合・農協などから仕入れており、食材の安心には最新の注意を払っている。有機栽培の導入は量の確保と材料費維持もあり、虫の混入も心配と聞くのでクリアできれば可能である。

山下 学校の授業だけでなく農業体験を通じ、川や田んぼの生物を教材に地球環境に及ぼす学習を取り入れられないか。

教育長 塩田小学校ではアイガモ農法で無農薬栽培のコメ作りを行っている。これから地域コミュニティと連携し、有機農法の体験学習を実践していきたい。

山下 人にやさしい街づくりで新規就農者を積極的に増やせないか。

市長 有機農法のリクエストも多いため、嬉野のイメージアップにつなげたい。



次期市長を待つ嬉野市役所塩田庁舎

出来るものは自前でこの意見があったが、検討はなされたか。

市長 基本的には、専門知識や資格を必要とする業務を委託している。

辻 人手があつたら自前で出来るということはないか。

市長 完全にはないとは言えないが、できる限り職員でと言つのがスタンスだ。

辻 農林、土木、水道などは専門技術者が必要ではないか。

市長 必要と考え各分野の研修に参加させ資格取得させている。また、特殊資格は資格取得者を雇用している。

辻 企画等委託した場合クライアント（依頼人）として市の意思はどれくらい反映しているのか。

市長 基本的な方針を説明し、それに対する提案となる。業務内容は十分レクチャーしながら取り組むので意向は反映されている。

梶原 本市では認知症の方は何人いるのか。

健康福祉課長 推計で760名程度である。

梶原 家族に認知症が出た場合の相談窓口は、健康福祉課長 健康福祉



介護マーク」を作成せよ

梶原睦也 議員

答 実施の方向で検討する

梶原 本市では認知症の方は何人いるのか。

健康福祉課長 推計で760名程度である。

梶原 家族に認知症が出た場合の相談窓口は、健康福祉課長 健康福祉

課の包括支援センターでケアマネージャーが相談にのっている。

梶原 認知症施策推進5カ年計画（オレンジプラン）では、認知症になつた方の今後のスケジューリング作成をするケアパスや、認知症の方を地域でケアする認知症力フエなどがあるが、本市での取り組みは。

健康福祉課長 今のところ具体的取り組みは行っていない。今後、県や村藤保険事務所等と連携を図りながら推進していく。

梶原 認知症サポーター養成講座の推進状況は。

健康福祉課長 1000名の目標で、現在798名の受講となっている。

梶原 静岡県の介護家族の方が、高速道路のサービスエリアで奥さんをトイレに連れて行った際に不審者と間違えられて警察に通報されるという事件があつた。このことを受けて静岡県は一目で介護中とわかる「介護マーク」を作成した。

是非、本市でも取り組むべきではないか。

梶原 投票率の推移は。

選管事務局長 平成18年の市議選が77・25%、同じく平成22年が76・35%、一番低いのが平成23年の知事選で44・59%だ。

梶原 投票時間の変更は。

選管事務局長 1時間の

市長 高齢者を支える先進的事例の一つとして普及を推進されている。佐賀県でも検討されているので県と一緒に実施の方向で検討する。

選挙について

梶原 投票率の推移は。

選管事務局長 平成18年の市議選が77・25%、同じく平成22年が76・35%、一番低いのが平成23年の知事選で44・59%だ。

梶原 投票時間の変更は。

選管事務局長 1時間の



厚労省も推奨する「介護マーク」

繰り上げ投票を決定した。

梶原 期日前投票については、特に高齢者や障がい者の方に戸惑いが多かつた。投票所での宣誓書記入を省くため、投票入場券の後ろに宣誓書を印刷し、期日前投票所での投票を簡素化すべきと要望してきたが、その後どうなっているか。

選管事務局長 宣誓書については、ホームページでダウンロードしたり、あらかじめ配布する方法などで対応したい。

定 住奨励金制度の施行 期限が迫っているが

副島孝裕 議員

答 実績を踏まえ継続したい



副島 老人福祉施設等への入所待機者が多くなっているが、人口減少が進む吉田地区に特養施設の建設はできないか。

市長 施設整備については、県などの広域的調整



定住促進奨励金制度の適用を受ける住宅

で決定される。入所待機者が多いことを踏まえ、ショートステイの一部定床化や複合型サービス事業所の開設促進が図られ、認知症対応型グループホームの増加などが見込まれている。

副島 人口減少の対応策として、「定住促進奨励金制度」があり確実に成果を上げているが、条例施行期限が本年度末と迫っている。制度の充実を含めた見直しなど考えているか。

市長 人口増加や流出・

転出防止に効果があがっている。実績を踏まえ、当然として同様な施策の継続を考えている。

嬉野市・鹿島市・太良町 連携政策会議の創設を

副島 県南西部の共通した政策課題や問題に対応できる協議の場を設けるため、鹿島市・太良町に提案し、2市1町連携政策会議を創設してはとと思うか。

市長 貴重な提案と受けとめている。現在でも様々に連携して事業を

嬉

野温泉開湯1300年の企画は

田中平一郎 議員

答 観光協会で検討されている



田中 嬉野温泉は厳しい経済環境の中、温泉旅館や商店街の低迷が続いているのが現状である。それを打破するためには、今後様々な対策を講じていかなければいけない。そこで、今年嬉野温泉開湯1300年の節目の年になるが、どのような企画を検討しているか。

市長 現在、嬉野温泉観光協会で実行委員会が組織され、その中で記念事業として、美肌の湯をモチーフとしたイベントを目玉に、ゆるキャラぬいぐるみの作成のほか、1300年にちなんだ事業が計画されている。

田中 スポーツ観光の面

でみると、バレーボールや野球、柔道の大会誘致が行われているが、今後どのようなスポーツを誘致していく考えか。

市長 今年度は、全国高校総体なぎなた競技や全国ソフトバレーボールが8月に予定されている。今後は、県のスポーツコミッションとも連携を密にしながらスポーツ観光の推進に力を入れていく。

田中 海外からの観光客誘致の研修も必要となってくるが、その実施に向けての大勢はどうか。

市長 観光協会においても、旅館や飲食店の従業員を対象として外国誘致室が実施されている。

田中 市のバックアップ態勢はどうなっているか。

市長 今年度は観光商工課に、旅行業の勤務経験が豊富な職員を配置し、中国の佐賀県の藩陽事務所へも職員を1名派

遣して、受け入れ態勢全般に対する効果を図っているところだ。

田中 地域の活性化を図ることを目的として、志田焼の里博物館周辺を整備していくことも必要ではないか。

市長 現在、商工会を中心として、志田焼の里道の駅推進委員会が設置され、市の職員も3名ほどが委員として委嘱を受け、参加する予定となっている。その会の中で今後の計画が検討されていくものと考えている。

田中 公共施設の里親制度の今後の予定は。

市長 継続の考えはない。



整備が望まれる和泉式部公園



副島 市長は、再生可能

入の進捗状況は
再生可能エネルギー導
行っている。すぐ隣同士
の自治体であり、人口減
少問題等、情報交換をす
ることでプラスになれば
と思うので、まず第1回
の話し合いをしてどうなる
のか進めたい。

エネルギーの利用は積極
的に推進すると明言され、
原発についても将来に向
けて廃止すべきと答えて
いるが、太陽光発電シス
テムの補助金を半減した
ことは、市長の政策に反
することと思うが。

を終了しているが、将来
の原発廃止に向けて、さ
らに再生可能エネルギー
の普及拡大を推進するた
め、嬉野市ではできるだけ
多くの世帯で補助金が
受けられるように、補助
単価を減額して制度を延
長した。

和泉式部公園の嬉野市での 位置づけは

答 貴重で大切な地域と考えている

織田菊男議員

織田 和泉式部公園に対
しての考えは。

市長 自然環境に恵まれ、
眺望も塩田の田園風景が
一望でき、素晴らしい環
境景観と思う。今回の地
域の元気臨時交付金事業
を活用し、複合遊具を整
備する。

織田 道路の幅が狭く、
大きなバスは公園に入り
にくいと感じられるが。
市長 主進入路は済昭園
側と考えている。一部狭
い箇所があるが、おおむ

ね整備はできている。

織田 公園に入る南から
の道路は公園案内図にも
無い。現在、利用されて
もいないが。

財政課長 公園を整備さ
れた時点で、公園の道路
として計画されていたか
どうかわからない。地域
の方が散策のため利用さ
れるように、コンクリー
ト舗装までは整備されて
いる。

織田 公園遊具が完成当
時より少ないが。

財政課長 木製遊具は、
経年劣化で危険となり、
ほとんど撤去した。残っ
ているローラーの滑り台
も、本年度計画している
遊具を設置するときに撤
去する。

織田 イノシシが出てき
ているが対策は。

財政課長 昼間の状況で
は確認していないが、看
板など設置しながら利用
者に対しての注意喚起を
行いたい。

織田 公園内の木が大き
くなって見晴らしが悪く
なっているが。

建設部長 桜の場合は剪
定など必要と思う。展望
台の所はヒノキが大きく
なっている。展望が利か
なくなれば伐採など考え

る。

織田 下に古代建築があ
るがいつも鍵が閉まって
利用されていない。危険
だから撤去すべきだ。

建設部長 数年前に竪穴
式住居を撤去した。危険
度が無い場合は今のとこ
ろそのまま、あと何年
かたつたら利用方法まで
考えて検討すべきと思う。

織田 公園横の一番目立
つ所に竹林がある。景観
が悪いがどうする。
建設新幹線課長 竹林は
民地で、市としては手当
てできない。

織田 公園の管理はどこ
の課で行うのか。

財政課長 公園管理は、
財政課管理で行う。



嬉野温泉開湯1300年のポスター

専門学校を誘致せよ

神近勝彦 議員

答 専門の課をつくりたい



神近 医療センター移転後の跡地利用はどのような考えなのか。
市長 大きな話になるが、西九州とか九州の範囲で考えた時に、どのような施設が必要かを考えたい。

神近 以前のコンベンションホールの復活ではないのか。

市長 コンベンション機能だけではなく、ほかの保健とか福祉などを加えた集合体が展開できればと思う。

神近 大型事業については将来の嬉野市の財政に重くのしかかると危惧する。民間のまちづくり委員会のなかで、大学や専門学校の誘致ができないだろうかとの意見がある。専門学校の誘致を大きな目標にすべきでないのか。
市長 私もそのように考えている。

神近 他の自治体では、学校誘致を専門とする課や係りを作っている。本市も取り組む必要があるのではないのか。

市長 私もそのように考えている。知事と話しをした時に、専門の課を作った努力すべきじゃないのかとサジェスション（示唆）もいただいた。

国道や県道に歩道を

神近 国道34号線の三坂地区から築城交差点まで



大事にしたい歯

小児歯科矯正費用の一部助成を

答 医師会と十分協議する

田中政司 議員



田中 現在、歯科矯正については、一般の保険適用外で、その費用は数万円〜数十万円ということである。歯は健康の源でもあり、子育てしやすい嬉野市を考えれば、小児

歯科矯正費用への一部助成は考えられないか。

市長 医師会の先生方と協議をし、前向きに考えていただければ取り上げていきたい。

今後の農業政策どうする

田中 佐賀県は国がTPP交渉に参加し、関税が完全に撤廃された場合、県内農業への影響額は300億円程度減少すると公表したが、市への影響額は。

市長 県の試算から推測して6億円程度と考え、継続することなので大きな影響になると考えている。また、お茶については逆に輸出のチャンスと考え、関係団体と協議していければと考えている。

田中 今後、市の農業が生き残っていくためには、どういった対策をとるべきかを真剣に取り組むための農業政策のプロジェクトチームを立ち上げるべきと考えるが。

市長 今のところ生産技術のほうは最高のところまでできている。今後はどのように販売していくの

か、消費は自分たちで探すという努力をしないと生き残れないと思うので研究しなくてはならない。

田中 販売が大事なのでそういうセクションを作ると理解してよいのか。

市長 生産技術の素晴らしさを消費者に伝えていけるようなシステムをいろんなネットワークを使いながら、組織的に固めることができればと考えている。

観光発展での考えは

田中 嬉野がおもてなしの観光を中心に発展していくために市・市民・観光事業者・関係団体がそれぞれの役割を明確にするため、基本的な条項を定める仮称「おもてなしの嬉野観光振興条例」を制定する考えは。

市長 先進地の事例などを研究し、地元市民の皆様との共同作業の一環として検討していきたい。



専門学校鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校

の歩道整備の考えはどうか。また、一位原三差路から大草野小学校までの計画はどうなっているのか。

必要性は充分認識しており、引き続き要望していく。【神近】国道事務所の協力体制とはどのようなことなのか。

市長 佐賀国道事務所からは、地元の協力体制が整った箇所から整備していくとのことだった。市としては、今後も強く事業化に向けて働きかけをしていく。県道嬉野塩田線の歩道整備について鹿島土木事務所では、計画は無いとのことだったが、

建設部長 極端な言い方をすれば用地買収に依るとのことである。

【神近】工事着工の確約ができないと用地買収の同意は進まないのではないのか。

建設部長 今後、もう少し踏み込んで確認してみたい。

自 民党と民主党の農業政策の違いは

西村信夫 議員

答 戸別所得補償が良い

【西村】 21年度の自民党政策の農業政策（品目横断経営安定対策）で嬉野市内の農業者に9886万円交付している。22年度から民主党政権の農業政策（戸別所得補償）は4



億4682万円交付されている。23年・24年度の交付額の支払い実績は、農林課長 23年度農業者戸別所得補償交付金は4億5446万円、24年度は4億975万円である。【西村】 自民政権時代の農業政策と民主党政権の農業政策ではどちらが良かったのか。

農林課長 数字的に見ても明らかに戸別所得補償交付金が農業者産者に多く支払われているので戸別所得補償制度が良かったと思う。【西村】 品目横断経営安定対策と民主党政権の戸別所得補償制度による支払い実績を比較して、市長はどちらの農業政策が良かったか伺う。

市長 農業政策は所得だけでなく地域のあり方、営農基盤をどう確保するか長期的に判断するのが当然と考えている。【西村】 25年度産地資金10アール当たり2万円の定額助成はあるのか。

農林課長 情報では今年も10アール当たり2万円で落ち着くかと思う。【西村】 耕作放棄地の現状、再生利用交付金活用の実績と事業計画は。市長 農地面積3120ヘクタールで、遊休農地と耕作放棄地は199・7ヘクタールである。農業委員会が農地パトロールを実施して持ち主の方に助言・指導をしている。



再生された耕作放棄地

不 動ダムの必要性は

田口好秋 議員

答 防災上必要でありしっかり要望していく



田口 県が示す塩田川の防災計画は、将来50年に一度の治水安全度まで上げる計画であり、そのため不動態ダムは作る必要があるとしている。また、完了している河川改修は、



防災に必要なダム（横竹ダム）

上流に3カ所のダムを作り、大雨時はそこで流量調整し下流へ流すことを前提に進められた経緯がある。上流にダムが2カ所の現状では30年に一度の治水安全度とされている。昨今のように1日の総雨量が500mmを越えるようなことが珍しくない降雨を考慮すれば、ダム建設は推進すべきと思うが。

市長 一時的にはダム不要論もあったが、昨今では全国の動きが防災に強い関心を持つ時代になっ

てきているので、強く要望していく。
生活雑排水の処理方法の今後は

田口 未整備地区の問題はどのように進んでいるか。

環境下水道課長 集合処理区域以外の未整備地区については審議会で協議をしてもらっている。方向性は浄化槽方式を含め検討中で、まだ決定はしていない。

田口 人口減少化の中で市が管理する市町村型の中

よ いこあつまれ」の利用者増の努力は

答 課題も出てくるので勉強する

小田寛之 議員



小田 あらゆる子育て支援の事業が行われているが、近隣市町と比較してどう思うか。

市長 他市町より拡充したサービスを提供していると考えている。

小田 子育て支援センターの開催場所や開所時間、また回数についてどう考えるか。

市長 当面の間は同様の内容で継続したい。

小田 「よいこあつまれ」の事業は今の時間帯が妥当か。

福祉課長 楠風館で10時から12時までの2時間を開設している。従来、嬉野地区と塩田地区で開催していたが、今年からセ

ンター方式を採用し、なるべく支援センターに集まっていただきながら、事業を実施している。一本化にしたことによって非常に効果的な成果が見られている。

母さん同士のコミュニケーションが図られている。デメリットがないとは言わないが、メリットが今大きく浮き上がっていると感じている。

小田 塩田地区では、ふれあいセンターの月3回がなくなり楠風館が月1回増えた。年齢にもよるが子どもを車に乗せてどこかにでかけるのは大変だ。例えば、久間から嬉野の支援センターまで行くのは往復1時間かかる。そういう状態で支援センターに集中するのは疑問であり実情とはかけ離れていると思うが。

小田 利用をされている方の意見を聞くとそうなのかもわからないが、少なくとも回数が減って行けなくなったという方もいる。意見を聞く手段は福祉課長 公式なアンケートは1年ぐらいはやってない。

福祉課長 ほとんど毎日支援センターに向いて、保護者や子どもたちの様子を見ている。一部の方には遠くなったというのもあるかもわからないが、私が毎日行くなかでは非常に和やかに、そしてお

小田 利用者が少ないからといって廃止をするより、利用者をどこまで広げるかの努力をするのが一番大事だと思うが。

市長 限られた人員の中で、どのような形でやっていくのかという課題も出てくると思うので勉強する。



市議会の情報発信に励む事務局職員



「シテイセールスパートナー」制度への導入を 組織化に向けて取り組む

山口 要議員

山口 今後、嬉野市が進むべき方向性の中で、シテイプロモーションが重要な役割を持つてくる。その手段として、シテイセールスの戦略プランを考へるべきではないか。

市長 ささまざまな課題はあるが、数年前からまちづくりの皆さん方が、コンサルタントの方と研究をされていて、方向性が見えてきたので、その方向に向けて取り組む。

山口 更には、市民に市

民の魅力や出来事を、口コミやブログ、またフェイスブック・ツイッター等において、PR活動を含めて情報発信をしてもらう、「シテイセールスパートナー制度」の導入に向けて検討してはどうか。

市長 市内でも若い人の中に幾つかのグループの人が、積極的に情報発信をされているので、今後は、その組織化に向けて取り組んでみたい。

山口 プライマリバランスについての考え方はどうか。

財政課長 基本的に収支が、財政の収入に追いついていかないとということなので、歳出についての見直しが必要である。

山口 起債分を除いた基礎的財政収支ということであるので、当然支出を抑制しなければならぬ。その事業抑制をふまえたときに、支出枠を制限するというのがシーリング方式は守られているか。

建設部長 財政状況の厳しい昨今であるので、その枠にはまる努力をしていかねばならないと思う。

山口 全職員に向けて財政の勉強会を開催せよ。

財政課長 財政についての勉強会が不足していると思うので、今後努力していきたい。

女性トイレの増設を

山口 公衆トイレの管理や清掃は行き届いているか。またクレームは。

市長 現在のところは、水道の出が悪い等の意見はあるが、汚いといったクレームはない。

山口 女性用トイレの増設に取り組むべきだ。

市長 そのことについては必要だろうと感じているので、その方向で努力をしていきたい。

浄化槽方式を検討したらどうか。

市長 審議会でも浄化槽方式は検討されているので、計画時には考慮していきたい。

田口 集合処理方式の問題点は、計画時の人口が将来的に大幅な減が見込まれるため、施設の無駄が生じ維持管理にも財政

的に多大な負担がかかると思う。利用料金については、見直す考えはないか。環境下水道課長 料金改定については、審議会に諮っていきたい。

田口 今後は交流人口増を図るための施策が必要

と思う。その一つとして志田焼の里博物館の近くに「道の駅」を整備してはどうか。入場者も飛躍的に伸び施設を生かせるのではないか。

市長 「道の駅」整備については商工会の方で基本的な話し合いが持たれており、実現できれば市としても協力していく。



開催回数が少ない塩田地区での「よいこあつまれ」事業

先進事例を研修

委員会レポート

議会広報編集 特別委員会

“議会が見える”
広報活動
を目指して

当市議会では、議会への市民の理解と関心を得るため、「議会だより」を編集発行している。今後も、「市民に伝えることができる広報誌」を発行する必要があることから、広報編集の研修会に参加した。

委員会の意見

研修会の講義では、広報誌を発行する意義や紙面の構成や記事の書き方、

表記方法等の説明や指導があつたが、おおむね当市議会の編集状況と一致していると感じた。また、当市議会を含め、様々な議会広報誌の講評もあり、大変参考になった。

計画の執行に関する広報が行われるが、二元代表制の議事機関である議会の議会広報の役割は、政策決定までの形成過程を伝えることである。このように、議会としての情報発信が重要であることから、今後ともこの研修会に参加し得たものを糧として、「伝わる広報誌」を発行しなければならぬ。

市民が嬉野市の情報を得るには、執行機関の行政広報である「市報つれし」と議事機関の議会広報「議会だより」の2ルートがある。行政広報では、政策・

市民が嬉野市の情報を得るには、執行機関の行政広報である「市報つれし」と議事機関の議会広報「議会だより」の2ルートがある。

特別委員会の構成と担当

議会改革特別委員会	広報編集特別委員会
委員長 神近 勝彦 副委員長 田中 政司 委員 西村 信夫、園田 浩之、大島 恒典、山口 政人、田中平 一郎、辻 浩一	委員長 小田 寛之 副委員長 山下 芳郎 委員 山口 要、平野 昭義、織田 菊男、副島 孝裕、梶原 睦也、山口 忠孝
・議会活性化に向けた検討 ・議会視察の対応	・議会だよりの編集発行 ・議会視察の対応



大津市での研修風景

委員会報告とは

定例議会最終日に、調査課題として各委員会に付託を行います。各委員会はその付託案件について、議会の休会中に視察・調査を実施します。その結果を次の議会で委員会報告として上程し、質疑応答後、承認を行うこととなります。

東へ 西へ

画 企 務 総 委 員 会 常 任

小浜温泉における 温泉水発電の 取り組みとは

平成25年4月から環境省の実証事業が始まった小浜温泉ハイナリー発電所を運営されている担当者より聞き取り調査後、発電施設を見学した。

委員会の意見

小浜地区で実証試験が行われているメーカーの発電機は、現在、国においても規制緩和が進められている小型の発電機であり、作動媒体に不活性



温泉水発電を見学する総務企画委員

量が限られている。現時点の導入はたいへん厳しい状況であるが、今後も嬉野市においてどのような可能性があるのか研究していくべきと考ええる。地球温暖化やエネルギー問題、また、枯湯も懸念されている嬉野温泉の湯量問題など、様々な課題に対応すべく温泉水を効率的、効果的に活用し、魅力ある温泉地の実現に取り組みたい。

ガス「代替フロン」が使われている。設置場所にも制約が無く、また、ポイラー・タービン主任技術者の配置も義務付けられてなく利用しやすくなっている。これを嬉野市内の公共施設に利用できないかと検討してみた。発電施設の設置場所は、近くに公有地があるので問題は無いが、発電に使える温泉水は民間の源泉を使用しているので使用

生 厚 教 文 常 任 委 員 会

大牟田市の 認知症対策は

高齢化の問題として年金、医療、介護などがあるが、その中でも今後大きな課題の一つになるであろう高齢者の認知症対策については喫緊の課題である。そこで、先進的な認知症対策に取り組みしている大牟田市を視察調査した。

委員会の意見

認知症は早期の取り組みが必要であり、予防・早期発見に取り組むことが重要である。本市においては「能力アップ教室」等を開催し介護予防に努められている。

早期発見・早期予防については民生委員や医療機関、サービス事業所との連携で取り組まれている。

るが、大牟田市のような一歩進んだかたちの認知症の専門家や専門医による定期的な相談・検診事業等や、また、子ども達に対する認知症教育も含め高齢者への理解を深めるための教育も必要である。認知症対策は高齢者対策の中の一部門であるが広範な角度で取り組まなければならないことは言うまでもない。認知症本人や家族の支援には、より一層の対策を講じていく時期に来ていることは間違いないことだといえる。



大牟田市役所で説明を受ける文教厚生委員

次回のテーマは下表です。調査レポートは9月議会号に掲載します。

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	提案型公共サービス民営化事業及びPFI方式町管理型浄化槽事業について
文教厚生常任委員会	教育委員会の在り方について
産業建設常任委員会	新幹線を活かしたまちづくりと開通後の現状について
議会運営委員会	各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項



私の
生きがい

森 真佐子

女性の声

子育てサポートを始めて5年が経ちました。子育て中のお母さんの手伝いになればと、平成20年から子育てサポートの仕事を個人で始めました。平成23年からは嬉野市で「ファミサポ事業」が立ち上がりましたので、参加させていただいています。

「ファミサポ」とは、まかせて会員がお願い会員のサポート（一時預かりや送迎など）を行う組織です。現在の会員数は双方合わせて165名です。

預かりの理由は、兄弟の行事（参観日や遠足など）や親の美容室などさまざまです。個人の活動も200回を超えました。

「人の役に立ちたいという思いから始めたのですが、若い方から元気ももらい、今では私たちの生きがいになっています。私は、嬉野市が子育てしやすいまちになり、子どもの数がどんどん増えてほしいという夢を持っています。そのためには、子どもが病気の時は休みが取れるなど働きやすい環境になり、幼い子どもたちのサポートにも学童保育並みの補助が出るようになればと思っています。

嬉野市では依頼子供傷害保険もかけていただいておりますので、安心して利用していただけたいと思います。嬉野市で子育てをしてよかったと思っただけのようにこれからも活動していきます。

平成25年6月

定例議会の日程

月/日	曜	議会関連	内容
6月 7日	金	本会議	開会、報告、提案理由説明
		委員会	議案の説明
8日	土	休	会
9日	日	"	"
10日	月	委員会	各常任委員会
11日	火	委員会	各常任委員会
12日	水	本会議	一般質問
13日	木	本会議	一般質問
14日	金	本会議	一般質問
15日	土	休	会
16日	日	"	"
17日	月	本会議	議案質疑（補正予算）
18日	火	本会議	議案質疑
19日	水	本会議	議案質疑
20日	木	本会議	討論・採決

議会広報編集特別委員会の日程

6月 24日	月	委員会	広報編集作業 全体レイアウト
25日	火	委員会	広報編集作業
26日	水	委員会	広報編集作業
27日	木	委員会	広報編集作業
28日	金	委員会	広報編集作業
7月 1日	月	委員会	広報編集作業
2日	火	委員会	広報編集作業 出稿
9日	火	委員会	広報編集作業 第1回校正
16日	火	委員会	広報編集作業 第2回校正

議会広報編集特別委員会は、定例議会終了直後から編集作業に取り掛かります。

編集委員会は8名の委員で構成され「議会だよりうれしの」を年4回発行しています。

記事の作成からレイアウト、写真撮影にいたる

まで、すべての編集作業を議員のみで行い、時には委員同士の激論を重ね、発行までに約1カ月間、3回の校正を重ね発行しています。

市民の皆様が議会活動をより御理解いただけるよう今後とも研鑽を重ねてまいります。



編集に励む広報編集委員

議会広報編集特別委員会

委員 長	小田寛之
副委員 長	山下芳郎
委員	山口要
"	平野昭義
"	織田菊男
"	副島孝裕
"	梶原睦也
委員	山口忠孝

ある経済史家の最終講義の話引用させてもらう（平成17年1月） 国民国家の自我のぶつかり合いが地球を破壊させる段階に近づけている。その引き金は単に戦争だけではない。経済成長という欲望である。経済成長というのは、地球から資源を略奪して贅沢をしているわけだから、経済成長競争をすれば資源が枯渇しておしまになることは分かっている。しかし、我々は経済成長によって国威を高め、そして大衆を惹きつけるという、そういう政治家が人気を得る、という構図になっている。今を觀て話されたのではない。過去を研究された歴史家の言である。（忠孝）